わったー しまぬ はーりーや みぐとっな むん。 わたしたちの故郷のは一り一は、見事なものだ。



は一り一は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

沖縄で行われるはーリー行事の中でも「那覇はーリー」は最大規模で、およそ 600年の歴史があるといわれています。





中南部各地の行事

中南部の各地域にはいろいろな行事があり、その地域に住む人々が大切に守り続けてきました。あ なたの地域には、どのような行事がありますか。

しまくとっぱ ちかてぃ, しまぬ しちびんかい んーな まじゅーん いかな。

しまくとうばを使って、故郷のお祭り(行事)に、みんなといっしょになって 参加しよう。



6 年中行事





↑全島えいさー祭り



↑海神祭(座間味村)



↑ししまいフェスティバル





↑糸満はーれー(※糸満では、はーれーと言います。)

6 年中行事

わね しまぬ むらうっどっいや, でぃきとん。

わたしたちの島の村おどりは、見事なものだ。

むらうどい(村おどり)は、豊作や村の人々の安全を願って行う祭りです。





北部の行事





↑塩屋のうんがみ



↑
安田のしぬぐ



↑久志の若按司(久志区)



↑∽のうしでーく



↑屋部の八月おどり

ぱーんとうーや みゃーくんうてぃや なーだか まちっりどーや。



ぱーんとう一は、宮古で有名な祭りなんだよ。

ばんたが しょまぬ ぱーんとューや、みゃーくぬ しょまじューんどっ あいっ。 わたしたちの島のぱーんとう一は、宮古の島中にあります。





どぅろー どぅが んーなんかい たっかーし、ぴぅとぅー **う**いきしっまーいっ。 どろを自分のからだにぬりたくって、 人を追いかけ回る。



6 年中行事

宮古の行事



⟨すく ベ かみ ⟨



↑川満棒おどり



↑うるかくいちゃー



↑松原のししまい





↑池間のくいちゃー



↑友利くいちゃー



↑友利ししまい

八重山

ばがー しっまぬ ぷーりっや みぐっとっ。

わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。

ぷーりう (豊年祭) は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。集落ごとに行 われる祭りで、八重山で行われる行事の中でも規模が大きく、人々が楽しみにし ている行事です。





八重山の行事



^{たきどうん} ↑竹富のたにど_うり



↑ 西表祖納のしつまつり



↑波照間のむしゃーま



↑小浜結願祭



6 年中行事



↑ 川平のまゆんがなし



↑ゆっかぬひー



↑四か字豊年祭 つなぬみん

| ^ | ŧ 6 年中行事

ばーちまぬ うがんふとってぃや みぐとっな むぬどっー。 わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。

うがんふとうてい (豊年祭) は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。 よななでに 与那国で行われる行事の中でも、「どうんた」や「棒おどり」はみんなが楽し みにしています。





与那国の行事





↑ぶーぶど_うい (棒おどり)



↑ たてぃうさい



↑くぶらまちり



↑みてぃうた



↑うがんふとってぃ

いぃー そーぐゎち れーびる。

良いお正月です。

一年の計は元旦にありといわれます。元日には、家族が集まってきちんとあい さつを行い、一年のほう負などを述べ合うのも良いかもしれませんね。



北 部 いぃー そーぐゎち やー。

にんとっ一ぬ えーすとっ し一がっちゃん。

年頭のあいさつに来ました。

いいーそーぐわちやー。 良い正月です。

くたいん ゆたはるぐとうやー。 今年もよろしくお願いします。

宮 古 かぎ しょーがちぅぬどぅ なりういぅ。 ٩

しょーがちっぬ あいさっちっ すーでい。

年頭のあいさつをします。

かぎ しょーがちっやー。

良い正月です。

くとうしうまい たかさしー ふいーさーち。

今年もよろしくお願いします。

八 重 山 いー しょんぐゎじぅらー。



6 年中行事

にんとうぬ あいさちっ っさりんゆー。 にんとうぬ あいさちっ っさりんゆー。 年頭のあいさつをします。

いーしょんぐわじっらー。良い正月です。

今年もよろしくお願いします。

与那国 いー すんかてぃどぅ ないぶるゆ。



にんとうぬ あいさてい つぁりるん。 年頭のあいさつをします。

い一 すんがてい。 良い正月です。

くとっちん いーくとっゆ あらみとっらしわり。 今年もよろしくお願いします。

正月にうたわれるうたを調べてみましょう。

中 南 部 / 北 部 「かじゃでぃふう」(かぎやで風)

あらたまぬ とっしに たんとっ くぶ かじゃてい くくるから しがた わかく なゆさ。

新年に炭とこんぶをかざって、心から若くなったような心持ちがする。

きゆうぬ ふくらしゃや なをうにじゃなたてぃる ちぶでいうる はなぬ ちゆちゃ たぐうとう。

今日のうれしさは何に例えよう。つぼんでいる花がつゆに出会って花が開いたようだ。

(宮)(古) 「とーがにあやぐ」

うぶゆ ていらしゅる まていだだき 国ぬ 国々 島ぬ 島々 ていりゃがーり うすいよ~。

大世を照らしている真太陽 (ティダ) のように 国の国々、島の島々を照りかがやき統治する~。

(八)(重)(山) 「ばしっぬ とっりっぷし」(わしの鳥節)

~ しょんぐゎじぅぬ しっとっむでぃ ぐゎんにちぅぬ 朝ばな あがるかい 飛びちょけ ていだば かめ まいちょけ。

(7・8番の歌詞) 正月の早朝に 元日の朝まだきに

(若わしは) 東の方に飛んでいった太陽をいただいてまって行った。

※与那国では、正月には中南部と同じように「かぎやで風」がうたわれるのが一般的です。

中 南 部 むーちー ちゅくてぃ, とぅしぬ かじぬ むーちー さぎらな。

むーちーを作って、年の数のむーちーを下げよう。 🎸



旧れきの 12月8日は「むーちー」を食べる日です。「さんにん (月桃)」の葉に包まれた「むーちー」は、よい香りがする、おいしい食べ物ですね。また、みんなの年の数だけヒモで結んで天井からつるす風習もあります。またこの時期は、「むーちーびーさ」といって、一年でも寒くなる季節でもあります。おいしい「むーちー」をたくさん食べて、身も心も暖かくなりましょう。

むーちー うふぉーく ちゅくてーぐとぅ ちゅふぁーら かみよー。 むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。



北部 うりむちー とぅくてぃ, とぅしぬ かじ うりむちー さぎらー。

うりむちー ふぉーく とぅくてくとぅ,

わたみちゅか くぇーよー。

むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。

まーはぶちゃげらはぬ。だー、てぃーち くわーてぃ んだー。 おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。



宮古 むっちょう ちょっぷい, とょしぬ かずだき むーちーゆ さぎやー。

むっち $_{5}$ う $_{5}$ つ $_{5}$ つ $_{5}$

あがんにゃ (あば), んまぎや一。あら、 \mathcal{C}_{5} てぃーち $_{5}$ *あいみー。 ああ、おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。

(※最近では 宮古の家庭でもムーチーを作ったりしますが, 本来, 宮古にはムーチー行事は行われていませんでした。)

八重山 むつば つくり と_うすぬ かず さげー みやーむー。

むーちー たかーに つくれーりきー ばだぬ んつんけん ほいよー。 むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。

いびー, んまさんがしゃーそー。あんずかー ぴてぃーず ほい みやーむー。

ああ、おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。



与那国 むてぃ つくいてぃ, とぅちぬ かでぃ さんぎるん。

むてい まーしく つくいあんがら、ばた んくた はいばえー。 むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。 あー、まーさんぎさんがえー。いた っとうち はいんぬー。 ああ、おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。

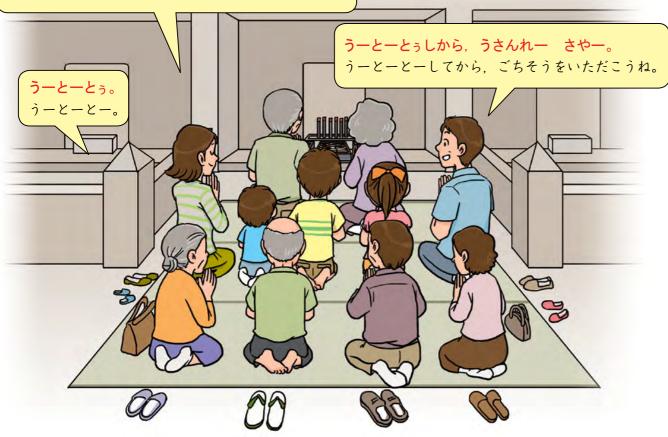


ちゅーや しーみー。するてい はかめーが いか。

今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。

沖縄島では,4月のはじめに「しーみー (清明祭)」を行います。そのときは, 家族や一族が集まって墓参りをして、ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養 します。

うやふぁーふじんかい うーとーとっしぇーやー。 ご先祖さまに、う一と一と一しなさいね。



北部 ちゅーやしーみー。 むんどうり すりてい ふぁかけ いかー。

うやふぁーふじけ とーとう しぇー。

ご先祖にう一と一と一しなさいね。

とーと。 しちから、さんでー さーやー。 うーとーと一してから、ごちそうをいただこう。

うーとーとう。

うーとーとー。



宮古・八重山・与那国

今日は十六日祭。みんなで墓参りに行こう。

6 年中行事



「じゅーるくにちー」は、旧れきの | 月 | 6 日に行う墓参りです。あの世(後生) の正月といわれています。

宮 古 きゅーや じゅうるくにちっ。 んーなし ぱかんかい いか。

きゅーや じゅうるくにちょ やーば んまむぬう くーっう い きょしょたい。 んーなしー んきぎさーち。 今日は十六日祭だから、ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。 ずー、んーなしー てぃーや かみってぃから、んまむぬー ^ふあー。 さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

八重山 きゅーや じゅーるくにちっ むるさーり はかかい はらら。

きゅーや じゅーろくにちっ やりきー こっきー しこーりきーだ けーらし おいしとーんなーらー。(んこーりよー。んきゃーとーりよー。) 今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。 でぃー、けーらし てぃー うさーし こっきー とーらりら。 さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

与 那 国 すーや どっぬくにてぃ。 ぶーる まどっん はがんき でぃー。

すーや どっぬくにてい どっ。うさい しくんき すんどっ。ぶーるし うやしわれ。 今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。 でい、ぶーるし ていー うさしてい、うさい たばらりるー。

さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

ちゅーから しちぐゎち。うんけーさびら。

今日からお盆。おむかえしましょう。

^{キッゥ} 旧れきの7月 | 3 日から | 5 日までの三日間は,お盆が行われます。ごちそ うをお供えして、ご先祖さまを供養する行事です。13日の初日は「うんけー(お むかえ)」、14日は「なかび(中日)」、15日は「うーくい(お送り)」の日で、 うちかび(あの世で使うお金)を燃やして、ご先祖さまをお見送りします。各地 では、「エイサー」や「アンガマ」など、お盆ならではのもよおしも行われます。



北 部 ちゅーから しちぐゎち。むけーらやー。

しちぐわちぬ うさぎむぬ いいちゃぎそーれー。 お盆のお供え物をおめし上がりください。 うんけー さーやー。 おむかえしましょう。

さんでー さーやー。 お供えしたごちそうをいただきましょう。 うーくい さーやー。 お見送りしましょう。







宮(古) きゅーから しっとっがちっ んかいやー。

しっとっがちっぬ うさぎむぬう んきぎさまち。

お盆のお供え物をおめし上がりください。

ずー. んかい。

お迎えしましょう。



うさぎむぬう ふあー。

お供えしたごちそうをいただきましょう。

うと_うもー すー。

お供しましょう(お見送りしましょ



八 重 山 きゅーから そーろん んかよーら。

そーろんぬ しこーりむぬ

おいしょーり。

お盆のお供え物をおめし上がりください。

んかよーららー。 おむかえしましょう。



すないだ むぬ (こっきー) と一らりんど一。

お供えしたごちそうをいただきましょう。

うーくい さなーら。 お見送りしましょう。



すーがら する。んかるんどぅ。

するぬ まっちゃる うさい うやしわれ。

お盆のお供え物をおめし上がりください。

するんかいうやい。

おむかえしましょう。



まっちゃる うさい たばらりる。 お供えしたごちそうをいただきましょう。

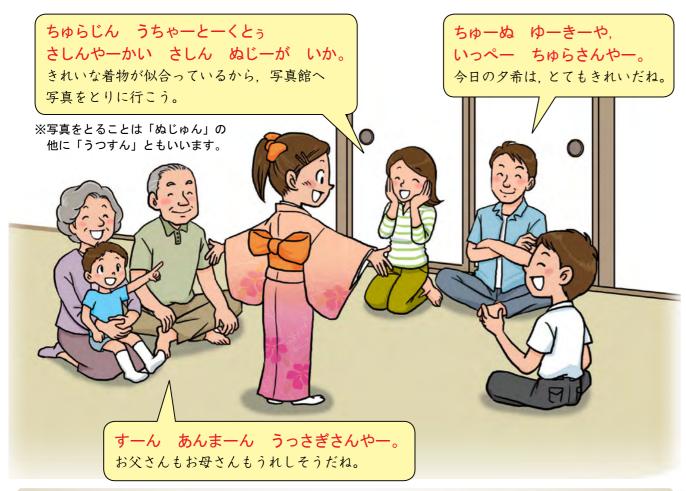
するうぐいうやい。 お見送りしましょう。



ちゅらじん ちやーい うっさん。

今日は、私の十三祝い。 きれいな着物を着てうれしい。

数えの十三歳をむかえると、十三祝いの行事を行います。あなたの家や学校で も、十三祝いをしたことでしょう。比嘉家では、夕希さんが、十三祝いをむかえ ています。おしゃれをした姿はかわいいですね。みんなは、どのような十三祝い をしたのかな。



北 部 ちゅーや、わー じゅーさんゆーいぇー。

ちゅーぬ ゆーきや、でーじな ちゅらはんやー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

ちゅらぎぬぬ うちゃとくとっ, 写真や一け いじ 写真 とっいが いかやー きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

ちゃーちゃーん あんまーん うっさぎさんやー。 お父さんもお母さんもうれしそうだね。

6 年中行事

宮 古 きゅーや、ばが じゅーさんよーいう。

きゅーぬ ゆーきーや ありやみーん あぱらぎやー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

かぎ ぎょんぬ ぱいーぱい ういば しゃしんやーんかい しゃしんぬ とっいっが いか。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

あんなまい、うやまい ぷからしっきやー。 お母さんもお父さんもうれしそうだね。



八 重 山 きゅーや, ばー じゅーさんぬよい。

きゅーぬ ゆーきーや あっぱりしゃー そーらー。 今日の夕希は、とてもきれいだね。

きんぬ かいしゃーり にやーりきー しゃしん とっんな はら。 きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

びげーん(あっちゃん) ぶねーん(あっぱん) さにんしゃんがさー そーらー。 お父さんもお母さんもうれしそうだね。



すーぬ ゆーきや、あらぐー あびゃんかえー。 今日の夕希は、とてもきれいだね。

あびゃる んなにんか まーてい んしゃるんがら,

写真やんき 写真 とうんでい でい。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

いやん あぶたん あらーぐ しゃなぎどっ わるんかえー。

お父さんもお母さんもうれしそうだね。

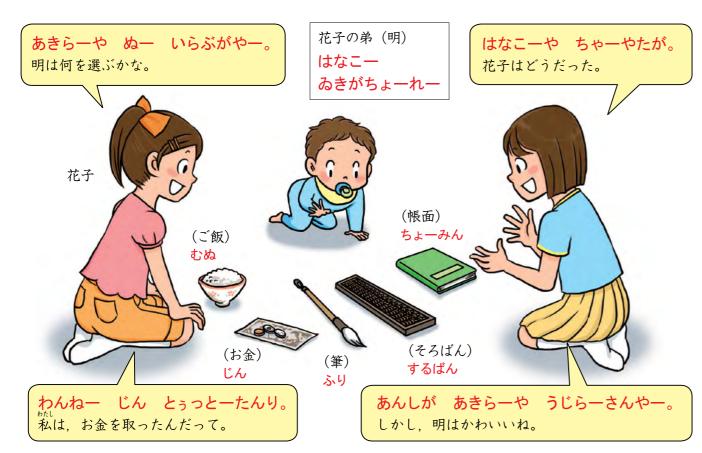


<-ロメモ>

沖縄では、自分の生まれた年と同じ主支を生まれ年といいます。丑年に生まれたら、その年が自分 の生まれ年になるわけです。また、生まれ年にはお祝いをしますが、そのことを「とうしびー」とい います。ですから、十三祝いも「とうしびー」のお祝いになるのですね。十三祝いの次は、25歳で、 そのあとは37歳,49歳,61歳,75歳,97歳になります。



赤ちゃんが、満一歳の誕生日をむかえると、「たんかーゆーいぇー」といって、 誕生祝いを行います。「たんかーゆーいぇー」では、赤ちゃんの前にご飯やそろ ばん、ノートや筆などを置いて自由に手に取らせます。何を選ぶかによって将来 の職業をうらないながら、家族や親せきなどで祝います。あなたは何を選んだか な。家の人に聞いてみましょう。



たっかゆーいぇーけゆわっとん。



あきらや ぬーが とういるやー。 明は何を取るかな。

ふぁなこや ちゃっち げーたる。 花子はどうだった。

わぬや じーにー とったんでぃ。 私はお金を取ったんだって。

いぇーすが、あきらや ばちきりとんや一。

しかし.明はかわいいね。

ちょーめん (帳面)、ふでい (筆)、じーに一(お金)、するばん (そろばん)、めー(ご飯)

6 年中行事



宮 古 たんかーよーいっんどっ あびらいたいっ。

あきら一, の一ゆがいらびっ がら。 明は、何を選ぶかな。

はなこ一、の一し一が、やたいっ。 花子は、どうだった。

ばがどっ じんぬ とっいったいっ てい一ぬ。 私はお金を取ったんだって。

あしっが、あきらー いんがなしっきゃー。 しかし、明はかわいいね。

ちょーみん (帳面), ふでぃ (筆), じん (お金), するばん (そろばん)、まいっ(ご飯)

八 重 山 たんかーよいかい ちっかさりだー。

あきらーや のーどっ いらぶかやー。 明は何を選ぶかな。

はなこーやの一しどううだかや一。 花子はどうだった。

ばなー じん とっったかやー。 私はお金を取ったんだって。

やすんが、あきらー あったらさーん。 しかし、明はかわいいね。

(注) あったらさーん (かわいい) 『石垣方言辞典』

ちょーみん (帳面)、ふでい (筆)、じん (お金)、 するばん (そろばん). ^っんぼん (ご飯)



与 那 国 たんかぬ だいんき つかいらりたん。

あきらや, ぬーば いらぶかやー。 明は、何を選ぶかな。

はなこや、ぬんに ぶたんか。 花子は、どうだった。

あぬや でぃんどぅ とぅたるんでぃ。 私はお金を取ったんだって。

いるんか、あきらや んだらんえー。 しかし、明はかわいいね。

ちょーみん (帳面)、ふでい (筆)、でいん (お金)、 するばん (そろばん)、い(ご飯)





んかしんちゅぬ いくとぅば てーしちに しよー。 昔の人たちのことわざを大切にしなさい。



あわてぃーる なーかー よーんなー (うてぃちき)

「急いでいる時こそ、ゆっくり(落ち着いて)。」急いでいるときこそ、冷静に落ち着いて行動しなさい。

・急がば回れ ・せいては事を仕損じる



くぬ ふかぬ いくとうば。(この他のことわざ)

いくとうばや、て一しちな むん やんろー。 (ことわざは、大切なものです。) たんめー、はんし一から ならてい んーりよー。 (おじいさんや、おばあさんから習ってみようね。)

- いちゃりば ちょーれー。(行きあえば兄弟) 「見ず知らずの人でも縁あって親しくなれば兄弟のようなもの。」
 - そですりあうも他生の縁
- ●きらまー みーしが、まちげー みーらん。(慶良間は見えるが、まつ毛は見えない)
- 「慶良間列島は見えるが、目に最も近いまつ毛は見えない。」
- ・灯台もと暗し
- ●ぬちる たから。(命こそ宝)

「命はかけがえのない大事なものである。」

- ・命あっての物種
- やーなれーが ふかなれー。(家での習いが、外でもそのままの習い) 「家でのしつけの悪いのは、よそでもその通り。家でのしつけは外でも自然に現れるもの。」 ・氏より育ち
- ○いぃーっちょー しんぐわんしん こーてぃ るし し。(良い人は、千貫で買っても友とせよ。) 「良き友は、大金で買うほどの価値がある。」
- 持つべきものは友

むかしんちゅーぬ いちぇぬ くとっや わっしてぃや ならんどー。 (昔の人のことわざは、忘れてはならないよ。)

- ●いっくわいなーる うすみじや ぬみる。(一回こそ、塩水も飲む) 「失敗は一回で十分である。くり返してはいけない。
- (潮も水も同格で、苦くて欲しくないもののたとえ)」・前者のわだちはふまず
- ●むぬ すそーに しーねー, うやふぁーふじん すそーに すーすとっ いぃぬむぬ。 (物をそまつにしたら、親祖父母をそまつにあつかうのと同じ。) 「物をそまつにしたら、祖先をそまつにするのと同じ。」
- ●か一みぬ くーよか とうしぬ くー。(亀の甲より年の功) 「年長者の豊富な経験は、貴重で尊敬すべきものだ。」
- ・老いている馬は道を忘れず
- ●みみだいっまーぬ ちゅーくーやー。(耳が垂れた馬(大人しそうな馬)こそ、人をかむ。) 「おとなしそうに耳を垂れている馬が、人をかむものだ。(人は外見で判断してはいけない。)」
- ●あがいてぃだる うがみる。さがいてぃだや うがまん。 (上がる太陽を拝むもので、下がる太陽は拝まない。)
- 「明るいことにこそ、心を向けなさい。細かいことでくよくよしてはいけない。」



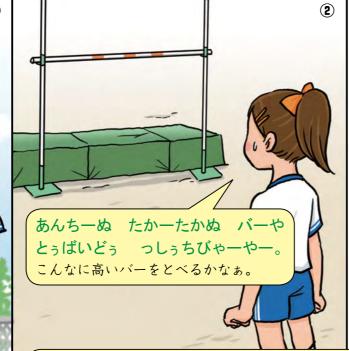
宮古 んきゃーん ぴっとっぬきゃーぬ んきゃーんじゅくう だいじっんすー。 昔の人たちのことわざを大切にしよう。



うむうちっかー ふうぎっだき あしっちっかー ぴさ だき。 思っているうちは首の高さ、やってみると足甲の高さ

※手をつける前は難しそうに見えても、実際にやってみると、案外たやすくできるものだ。



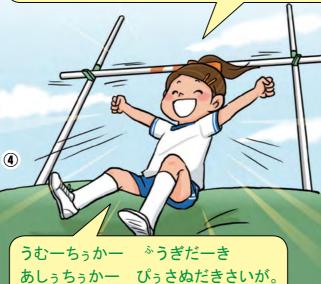


いっう゛ぃうてぃーまい の一まい ならん。 あらんにゃとっぱっどー。 怖がっていてもしようがない。 よーし、とぶぞ





あがいたんでい。とうばいどうっしっさいが。 あしっちっかー ないっどっ しっさいが。 やったー。とべたぞー。やればできるんだ。 思い切ってとんでよかったぁ



思っているうちは首の高さ.

やってみると足の甲の高さだぁ。

うぬ ぷかぬ んきゃーんじゅく (この他のことわざ)

んきゃーんじゅくや だいじっなむぬ。 (ことわざは大切なものです) しゅーたー、んまたーから ならい みーる。 (おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう)





●ういびゃー うちっんかいどっ ぶりいっ。

(指は内側に折れる)

「五本の指が内側に折れるように、兄弟や親せきは、いざというとき協力して、事にあたるもので ある。」

- ・血は水よりもこし
- ぴとっだすきゃー どっ一だしっき。

(人助けは 自らを助く)

「他人に対するえん助は、結果として自分へのえん助として帰ってくる。」

- 情けは人のためならず
- ●かなっさどっ あぱらぎさ。

(愛故に美しい)

「いとおしい心で見れば、かわいく美しく見える。」

- ・あばたもえくぼ
- ●たかぎん―どぅ かじゃー かかいぅ。

(高木に風はかかる)

「高い木には風が強く当たるように、優れた者は世間からとやかく言われる。」

- ・高木は風に折られる
- ・高木は風にねたまれる

(一芸にかなう者が、百芸にかなう)

「一つの芸や技にひいでるものは、他の分野でも能力を発揮するものである。」

● やまばとー ど_うーぬ ^ふうち_うんかいどう ^ふぁーいい_う。

(山ばとは自分の口に食われて射られる)

「余計なことを言わなければ、災いを招くことはない。」

- ・キジも鳴かずばうたれまい
- ・口は災いの元



八 重 山 むかす ぴっとっだーぬ ゆんぐとっや あたらさ しーよー。

昔の人たちのことわざを大切にしよう。



いー どっしっ むちっりっかー たたみぬ ぴーりっ ふむん やな どっしっ むちょりつかー ちょななー ぱくん。「善い友だちと仲良くするとたたみの上で良い暮らしができ、 悪い友だちと交わると、なわめをかけられる。」(「なわめをかけられる」は、「つかまる」ということ。)



あんじー。かんじー かんがいかー みしゃーるすず。なら一しひやー にふぁいどー。

そうか。こんな風に考えればいいのね。 教えてくれてありがとう。

いー どうしう むちょりつかー たたみぬ ぴーりょ ふむん やな どっしっ むちょりっかー ちょななーぱくん。 本当に、「善い友と仲良くするとたたみの上で良い暮らしが でき、悪い友と交わると、なわめをかけられる。」だね。



うぬふかぬ むかしっむに。(この他のことわざ)

むかしっむに あたらさーる むぬ。 (ことわざは、大切なものです。) 注)、 むかしうむに (ことわざ) うしゅまい んみーから ならい みーら。 (おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



八重山

- ●うやぬくいやー かんぬくいで うむやー ゆぐ しきよー。 (親の声は神の声と思ってよく聞きなさいよ。)
- ●ゆくしむねー すーかー ぬすとるぬ はじまるんどー。 (うそをつくとどろ 棒が始まるぞ。) 「うそをつくことが、やがてはぬすみにつながっていく。うそをつくことは、どろ棒と同じように悪い ことである。」
- ●かたちぇー にばん きっむぬどっ だいいちっ。 (形は二番、肝〈心〉が第一。)
- いじぇーる むねーや ぬまるぬ。

(言った言葉はのまれぬ)

「口から出した言葉は、再び口の中へのみ込むことはできない。」

- ・ロは災いのもと
- ・後かい先に立たず
- ●ふちぇーや やふぬ むとぅ。 (口は災いのもと。)
- ●ぱれ一や ぬるまぬ。

(針はのまれぬ)

「小さいからといって、あなどってはいけない。」

- ・さんしょうはつぶでもピリリとからい
- ●ふしぇー ぴとっぬ まりじょー。

(習へきは、人の生まれ性分)

「人のくせというものは生まれつきのもので、年を取っても変わらない。」

・三つ子のたましい百まで

●も一ぎぬ たちるかー あーみー ふりんどー。 (にじの立っているところでは、雨が降っている) 「何か物事が発生するときには、必ず物事が起きる理由がある。」



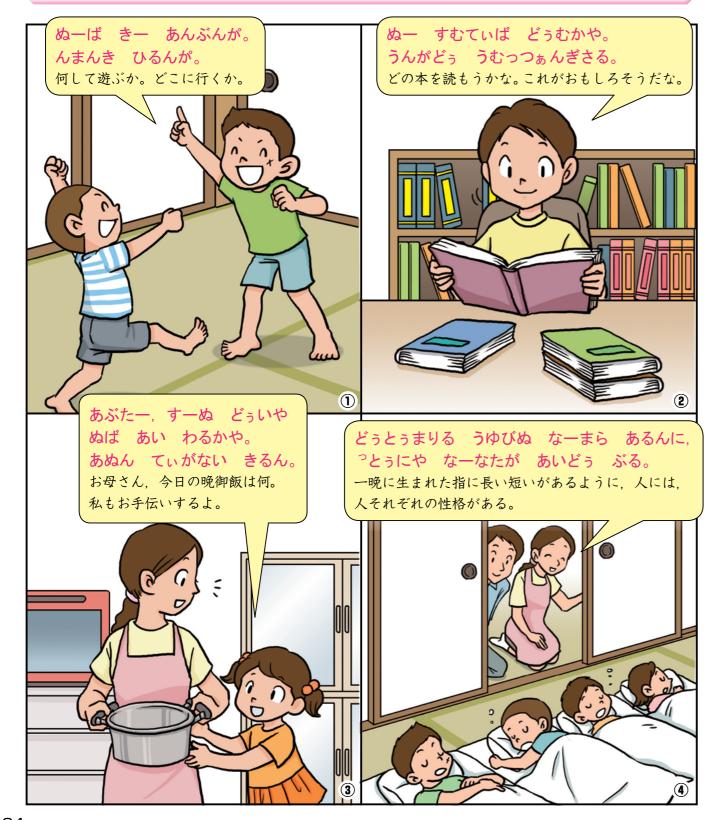
那 国 んかち っとっんたぬ むぬぬたてい あたらきりよー。



昔の人たちのことわざを大切にしよう。

どっとっまりる うゆびぬ なーまら あるんに、っとっにや なーなたが あいどっ ぶる。 「一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、人それぞれの性格がある。」

・十人十色



うぬふがぬ むぬぬたてい。(この他のことわざ)

むぬぬたていや、あたらるむぬどー。(ことわざは、大切なものです。) あさ. あぶんたがら ならいんにゅー。 (おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)

与 那 国

■あとっなる むぬんがどっ、うぶいゆ ふ。

(後になる者が、大きな魚を食べる)

「人に先をゆずって最後に残った人が、大きな魚を食べることがあるように、人に先をゆずれば、 自分に福がやってくる。」

- 残り物には福がある。
- ●い一むぬとっ ちりたや いーならいき、だなむぬとっ ちりがらや、だなないどっ きる。 (良い人と付き合ったら良い習慣が身に付き、悪い人と付き合えば、悪い習慣が身に付く)
- 「交際する相手によって、人は感化されてしまう。」
- ・しゅに交われば赤くなる。
- ●うやんか うむんに あがみんか うまぬん。

(親が思っているようには、子どもは思っていない)

「親がどれだけの愛情を注いでも、子どもには伝わりにくいものである。」

- ・親の心、子知らず。
- していん あがみがらや、かでい くんでいどう ある。

(空が赤くなってくると、台風がやってくる) 「天気のことわざ」

●み一みぬ まいぬどぅ, んたく。

(実らないいねのほが頭を立てる)

「礼ぎを知らなくてはいけない。」

・実るほど頭を垂れるいなほかな。

●き一ぬ まんがいや、つかりるが、つとっぬ まんがいや、つかにぬん。

(木の曲がりは使えるが、人の性格の曲がった奴はどこにも使えない) 「もって生まれた性格や性質は、年を取っても変わることはない。」 ・三つ子のたましい百まで

- ●だーならい どぅ ふがならい。 (家での習いが、外での習い。)
- はいない にちない、どうったい かったい。

(南か北か、どちらかわからない) 「決断力が無く、いい加減な人を言い表すことば。」

7 ことわざ・言葉

うまんちゅぬ くくるむち ちたゆる くとっぱ。

みんなの気持ちを伝える言葉。



しまくとうばには、私たちの気持ちを表す言葉が数多くあります。中でも「ち む」は、心の意味で多く使われており、沖縄の人々の優しさを表しています。「ち む」のつく言葉には、どのようなものがあるか調べてみましょう。









※他にも「ちむしから一さん(心さびしい)」「ちむやむん(心が痛む)」「ちむわさわさーすん(胸さわぎがする、心が浮き立 つ)」「ちむの一いん (機げんが直る)」など、たくさんあります。

わね むんどうりぬ くくるむち ちてーる くとうわ。



きむぢゅらはん。

心が清らか。

きむがなはん。

心からかわいく思う。

きむ ふぃじゅん。

心が満ち足りる。

きむ やみん。きむぐろはん。

心が痛む、かわいそう。

きむしからはん。

心さびしい。

きむ さーさすん。

胸さわぎがする。

きむ の一いん。

機げんが直る。



ばんたがー んーなが きっむ あらーしっ くとっぱ。



きっむ やぱ。

心やさしい。

きっむぬ すくから かなしっつさていどっ うないう。

心からかわいく思う。

きっむ。んてい一んてい。

心が満ち足りる。

きっむぬどっ やむ。ちっんだらーしっ。 心が痛む。 かわいそう。

きっむさがい。

(きょむさびょしょむぬ)

心さびしい。

きっかわか。

心が痛む。

んみとうとうみきう。

胸さわぎがする。

きっむ のーいっ。

機げんが直る。

八重山 ばがだー けーらぬ うむいゆ ちゅたいる くとっば。



きっむぬ やふぁさーん。

心やさしい。

きっむから かなさーん。 心からかわいく思う。

きっむ ふぎるん。

心が満ち足りる。

きっむんぐりしゃーん。 かわいそうである。

きっむしかさーん。

心さびしい。

きっむぬやむん。

心が痛む。

きっむあーりっ. きっむさわぎっ。

胸さわぎがする。

きっむ の一すん。

機げんを直す。

与 那 国 ばんた ぶーるぬ くぐるむてぃ とっんきる くとっぱ。



くぐるなだやしく。

心やさしい。

くぐるがら あたらき うむい。

心からかわいく思う。

ちむ んてぃ たらし。

心が満ち足りる。

ちむ だーみ、ちむりさ。

心が痛む、かわいそう。

ちむ さびっつぁー。

心さびしい。

ちむだーみ。

心が痛む。

ちむ ささらんてい。

胸さわぎがする。

きんがい ぬい。

機げんが直る。

なーふぁくとっぱー うむさん。

那覇言葉は、おもしろい。(その1)



こーぶいかーぶい すん。

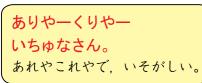
うつらうつらする。

那覇くとうばには、おもしろい表現の言葉がいろいろあります。同じ言葉をく り返したり、同じようなリズムの言葉をくり返したりする表現です。あなたの住 んでいる地域には、どのようなおもしろい表現があるかな。



はーえー ごんごんし あしろーん。 走り回って遊んでいる。

※「<mark>はーえー</mark>」は「走る」の意味で、 「かけっこ」は、「はーえーすー ぶ一」と言います。





ありか--くりか--かめーたしが ねーらん。 あちこち探したけど、ない。



よーんなーよーんな-いちゅんろー。 ゆっくりゆっくり 行くんだよ。



うしるぬ ねーんれー ちーちーかーかー すん。 おしるがないと、(食べ物が) のどにつかえる。

北部 くしくとうわや うっさん。

ぐわんない しち あすどん。

に一うっいか一うっいすん。 ありしーくりしー うつらうつらする。

いちゅなはん。 あれやこれやで、いそがしい。

走り回って遊んでいる。

※走るは「ぐわんない すん」で、かけっこは、「ぐわんないせー」といいます。

あまくま かめ一たすがねん。 あちこち探したけど、ない。 ゆっくりゆっくり行くんだよ。

よんな一よんな一る いちゅんどー。

しるぬねんなね。 ぬでぃくーくー しち むぬ うていらん。 おしるがないと. (食べ物が) のどにつかえる。

宮 古 すま ふうっつぁ うむっし。

あいっじゃー みーみ。 言ってみるだけ。

ありゃー みーん にうたーにうた。 非常にねむたい。

うりっす かりぃすっす ていぱんたむぬ。 あれやこれやで、いそがしい。

うまかま とみたいっ すがどっ にゃーん。 あちこち探したけど、ない。

ぬかーぬか まーりよー。 ゆっくりゆっくり 行くんだよ。

するぬ にゃーだかー んみくずーくずどっ しうっしう。 おしるがないと、 (食べ物が) のどにつかえる。

八 重 山 しっまむねーや うむっさん (うむっさーそー)。

かきちっきっくなーしょうー。 走り回って遊んでいる。

※「がすけー」は、走るの意味で、かけっこは、 「かきちぅきっくなー」といいます。

しかいとっ にびぅったさーん。 非常にねむたい。

ありんくりんし ぱんたさん。 あれやこれやでいそがしい。

あまーん くまーん とうみだすんが ねーぬ。 あちこち探したけど、ない。

よーりぅよーりぅ. はりよー。 ゆっくりゆっくり. 行くんだよ。

するぬ ねーなーかー ぬまるぬ(ふぁーるぬ)。 おしるがないと. (食べ物が) のどにつかえる。

与 那 国 どっなんむぬいや うむっつあん。

あいていらしきー あんびぶん。

走り回って遊んでいる。

あら一ぐ にんたどぅ ある。

非常にねむたい。

はんたさぬ あれやこれやでいそがしい。

いるま かるまし

うまかま みきたんかどっ どっりー どっりどっ みぬん。

あちこち探したけど、ない。

ひるどう。

ゆっくりゆっくり. 行くんだよ。

ちるんがみぬとっ はいむぬんが ぬどっんき ちまるん。 おしるがないと

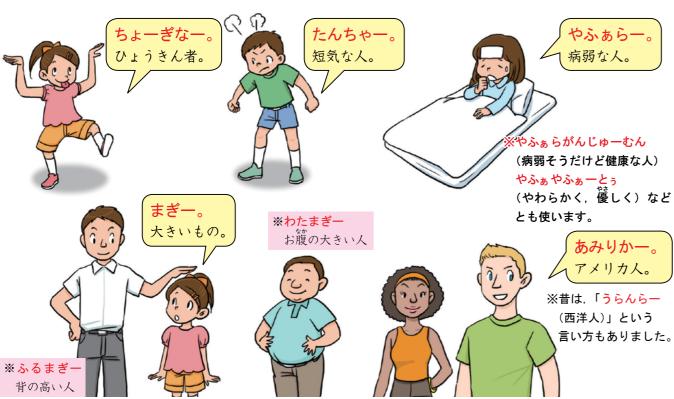
食べ物が のどにつかえる。

なーふぁくとっぱー うむさん。

那覇言葉は、おもしろい。(その2)



那覇くとゥばには、くり返しの言葉だけでなく、他にもおもしろい表現があり ます。「さー」や「一」をつける言葉です。この「さー」をつけると、○○する人、 ○○な人という意味になることがあります。どのような「さー」のつく人がいる かな。



くしくとうわや うっさん。(その2)



ちょーぎなー。 ひょうきん者。 たんちゃー。 短気な人。 ふどっまぎー。 背の高い人。 わたまぎー。

お腹の大きい人。

あめりか一。 アメリカ人。

※昔は、外国人はみな「うらんだー」といいました。

やふぁら一。 病弱な人。

やふぁらがんじゅーむん。 病弱そうだけど健康な人

※やふぁらやふぁらーとぅ。

(柔らかく,優しく) などとも使います。

宮 古 しっま ふうっつぁ うむっし。(その2)

いんしゃー。

犬を売買する人。

わーしゃー。

豚を売買する人。

うやきや一。金持ち。

ま一すや一。塩屋。

びょーざ。病弱。

うぽーぷ。大きいもの。

ぷどぉー うぽーぷぬぴ_う と_{う。}

背の高い人。

うぷばたぴっとっ。腹の大きい人。

あみりかぴっとっ。アメリカ人。





八 重 山 しっまむねー うむっさん (うむっさーそー)。

ぴらしゃ一。短気な人。

たんきっむぬ。 短気な人。

まぎ一。大きいもの。

うらんだー。 アメリカ人。

たきーぬ たかさーる ぴっとっ。 背の高い人。

ばだぬ まいしゃーる ぴっとっ。 お腹の大きい人。



びょーざー。病弱な人。

びや一らがんじゅー。 病弱そうだけど健康な人。

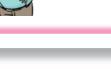
※びなさーすんにゃーし うすんが がんじゅーどー。

病弱そうにしているががんじょうだよ。

※「やーらーやーらー」

(柔らかく、やさしく) などとも使います。 ん





与那国 どっなんむぬいや うむっつぁん。

はんきむぬ。

ひょうきん者。

ふーていんきぬむぬ。

大きいもの。

とっだぎ たがるっとう。

背の高い人。

ばたぶた。

お腹の大きい人。

くんどうぐら。 短気な人。

うらんだー。

外国人

だはらさん。 病弱な人。

だはらさるにてい

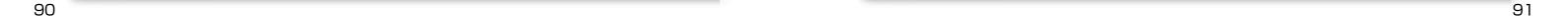
かんどっさるっとっ。

病弱そうだけど健康な人。

だらていーだらてい、なだやさん。

やわらかく、優しく。





わったー なーや しまー ぬーんり いーがやー。 私たちの名前や地域は何というかな。



わたしたちの名前や、わたしたちの住んでいる地域は、しまくとうば独特の呼 び名があります。それぞれの名前や地域が、何て呼ばれているのか、調べてみま しょう。

人名

しろ 大城:**うふぐしく** v が 比嘉: **ふいじゃ** *: かなぐしく 宮城:まーぐしく

玉城:たまぐしく 勢理客:じつちゃく 伊波:いは 垣 花:かちぬはな ^{たま な は} 玉那覇:**たんなふ**あ ^{ながみね} 長嶺:ながんみ Lまぶくろ 島袋: **しまぶく** 喜屋武:ちゃん

*són** 新垣:**あらかち**

地名

** 那覇:な―ふぁ ょなばる 与那原: ゆなばる

西原:にしばる さしき 佐敷:**さしち**

は えばる 南風原:**ふぇ―ばる** 首里:すい

北部 わね しまや ぬーでぃが つゆーたるやー。

人名

^{ひ が} 比嘉:**ふいが** ***しろ 大城:**うふぐすく**

たましろ(ぎ) 玉 城 : たまぐすく 勢理客 : じっちゃく 垣花:かきぬふぁな 伊波:いふぁ ^{たま な は} 玉那覇:**たんなふぁ** Lまぶくろ 島袋: **しまぶくー**

^{ながみね} 長嶺:ながんみ 喜屋武:きゃん

**・かき 新垣:あらかき

地名

92

世冨慶:ゆつくい * ^{*} ^{*} 喜瀬: きし ^{なご} 名譜:**なぐ**

***^{うら} 大浦:**ふーら** でででで : ぎぬじゃ 伊差川:いじゃしちゃ

国頭:くんじゃん 底仁屋:す一な 許田:ちゅだー ** 数久田: | **.ったー**

ジェネ: ふいんとうな 天仁屋: ていんな

宮古

ばんたが なーとっか しっまー の一ていがあいっからや。

人名

下地: すむじう 池間:いきま 上地:ういじう * でかり 嘉手苅:かでいかり ****** 前里:**まいざと**う ょ な は 与那覇: ゆなぱ ^{くりま} 来間: ^ふやま 伊良部:いらう

なかんだかり 仲村渠:なかんだかり いしゅね 石嶺:**いしうんみ** ^{ひ が} 比嘉: ぴぅが— 仲宗根:なかずに

地名

上野:ういぬ ^{すながわ} 砂川:**うるか** でしばる 腰原:**くしっぱり** 西原:にすばり がみはら 鏡原:かがんばり ^{そえどう} 添道:**すいど**ー ^{ひさまつ} 久松:<mark>ぬざきう</mark> ^{ひらら} 平良: ぴっさら のばるだけ 野原岳:ぬばりだき かりまた
狩俣:かいうまた ^{こまだけ} 細竹:**くまだき** ^ぼら 保良: ぶら

ばがだー しっまぬ なー、むらむらぬ 八重山 なーや のーでどう あんくかやー

人名

Nytaticu 入嵩西: いりたけにし 請盛: うけもり 要点:あわもり

は えだて 南風立:はえだて まれいしがき 前石垣:まいしてがき 前新:まえあら 本盛:七十り

地名

m 良原: **か―らばる** 喜田盛: きだむりう

_{け だやま} 慶田山: きだやま ^{さきえだ} 崎枝:**さきだ** ^{たき だ} 嵩田:**たきだ**ー ^{たきばる} 嵩原:たきばる 南後原:はいし一ばる 南風見:はいみ とのは 登野城:**とうぬすく** LG IE 白保: つさぶ

皆野底: みなぬすく 宮良: めーら

ばんた なーとう はるぬ なー ぬんにば んーどうかや。

大桝: **うぶまっちゃー** 前大桝: **うぶまっちゃてい** 後間: **くちま** ぶくぬ 譜久嶺:ふくんみゃー

空良:みや一ら 宮城:みゃぐしか よなはら 与那原:どうなんばら 石底:いすか

地名

すらぶだけ 宇良部岳:うらぶだき 立田神:たたがん 野武原:ぬんばる 嘉田原:かたぶる

くんばる **育原:くんばる** ^{うらだ} 浦田:**うらだ** ひがわ 比川:んでい 帆安:んだん まんだばる 満田原:まんたぶる * c 〈 屋手久: だていく ※原は、「ぱる」「ぱら」「ぶる」の3通りの言い方がある。

わじゃうぇー はっちゃからん たみねー。

災いに会わないためには。



電気や機械化が進んでいなかった昔は、いろいろな災いごとに会うことがあり ました。人に悪さをする者たち(マジムンといいます)もたくさんいました。で すから、昔の人たちは、災いごとや、マジムンを取り除くための言葉やしぐさを 持っていました。どんな言葉やしぐさがあったのかな。



まぶやー まぶやー うーてぃ くーよー まぶい (たましい) よ、追いかけてきなさい。

あい まぶい うとっちゃん。 おっと、たましいを落とした。 (※たまげた、おどろいたという意味)



※とてもおどろいたことがあると、昔の人は、たましいが体から抜け落ちると考えていました。そのときは、マブイグミをし て、たましいを一元の体に戻してもらいました。今でもやっている人は多いかもしれないね。

なー やーかい けーらなやーたい。 もう、家に帰りましょうね。

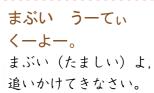


あんやれー あんまーくーとューさ。 それなら、アンマークートゥー しようね。

※赤ちゃんをマジムンから守るための「おまじない」です。「あんまーくーとうー たーがん んーらん。あんまーくーとうーる ん一じゅんろー。(お母さんの他は、だれも見ないよ。お母さんだけを見るんだよ。)」と言います。

わじゃゑーけ ふぁっちゃからん たみにや。

にー ふぁったかちゃん おどろいた、びっくりした ※「に一」(胸)





みす ます むっち いきよー。

みそと塩を持っていきなさい。 ※引っ越しのときなどに、まよけとして持っ て行きました。

わらしんぼーちる さんや とっくたる。 稲わらでサンを作ったんだよ。 ※久志ではサンは稲わらで作り、「わらしん ぼ一」と呼んでいました。



宮 古 やふんかい いでゃーん たみんな。

あがんにゃ たまっしょどう ぴぅんがしにゃーん。 おっと、たましいを落とした (たまげた、おどろいたという意味)。

たましュー たましュー ぴんぎいっなよー。 あわわわわ。

まぶい (たましい) よ、追いかけてきなさい。

※たましいを体に戻すために、胸をたたいて「たましュー たましュ・・・」 と3回ほど唱え、「あわわわわ」と言いながら口をたたく。



八重山 やなむんかい いかーんよーに すー たみ。

たましュー ぬぎーだー。 たましいを落とした。 (たまげた、おどろいたという意味)。

まぶいたましっ ういくーよー。 まぶい (たましい) よ. 追いかけてきなさい。

と一、や一かいはら、ぞ一。 もう、家に帰りましょうね。

あっぱーぬ ふかーや みーんなよー。 あっぱーたんがー みーりよー。 お母さんの他はだれも見ないよ。 お母さんだけを見るんだよ。

ふつふつふつ。 地しんの際のまじない。



与 那 国 だなむんき とっぱらぬ たみ。

は一、たまち うとっしゃん。 おっと、たましいを落とした。

まぶやー ういかぎ くゆー。

まぶい(たましい)よ、追いかけてきなさい。

まー だんき でぃー。

もう、家に帰りましょうね。



※夕方に食べ物を持っていくときなど、マジムンが寄りつかないように葉でつくった「つっつぁ」をそえていました。 また、重い荷物をと中で置いていくときも、自分の所有物であることを示すために、「つっつぁ」をそえていました。

『大造たんめーとうがん』なーふぁくとうばさーにかちーねー。 『大造じいさんとがん』を那覇言葉で書いてみると。

みなさんが、授業で使う教科書。その教科書にのっている作品もしまくとうば で表現することができます。このページでは、ずっと以前からみなさんに親しま れている『大造じいさんとがん』をしまくとうばで表現してみました。教科書に のっている原文と引き合わせて、しまくとうばならではの世界を楽しんでみま しょう。

くとうしん、残雪_お一、がんぬ しんかぬちゃー そーて_い、しったいみーんかい ちゃん。 残雪んり いーしぇー いちわぬ がぬんかい ちきらったる なー やん。 にじりとう ひじゃいぬ はにんかい、ちゅとうくるなー、まっしーら そーる きー むっちょーたくとう, かりゅーろたーから, あん いらっとーたん。

今年も、残雪は、がんの群れを率いて、ぬま地にやってきました。 残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。左右のつばさに、一か所ずつ、真っ白な混じり毛 <mark>を持っていたので、かりゅうどたちから、そうよばれていました。</mark>

大造たんめーや、はなぬ しちゃんかい たっちょーてぃ、あんし、まぎぐぃーし、 がぬんかい あびたん。あんし、残雪が にしんかい とぅり いちゅし、 さーじゃーとう そーる ちらさーに みーまんとーたんり。 いちまりん、いちまりん、みーまんと一たんり。

大造じいさんは、花の下に立って、こう、大きな声で、がんによびかけました。そうして、残雪が北へ と飛び去っていくのを、はればれとした顔つきで見守っていました。 いつまでも、いつまでも、見守っていました。

椋鳩十 著 小峰書店『大造じいさんとガン』参考

北 部 「大造っんーめーとぅ がん」くしくとぅわち かち んだー。

くたいん、残雪ぬ、がんぬ むり そーてい、くむいけ うりてい ^っちゃん。 残雪でい つゆすーや、ていーちぬ がんけ とうきらったる なー いぇーん。 っぴじゃい いぃぎりぬ ふぁにけ、ちゅとうくるちゅとうくる、まっしるな まっきぎー むっちょーてくとう、とういうっちゃーたーから、あっち ゆわっとーたん。

大造^っん一め一や、ふぁなぬ しちゃけ たっち、まぎぐぃっち、がんけ あっち ゆゐかきたん。あっちしち、残雪ぬ にしけ とうゐたっち いちゅす、 ふありばりとう しちゃる っとうらし みまむてい うったん。 いとうがでいん、いとうがでいん、みまむてい うったん。

宮古 「大造しゅーとう がん」ぬ みゃーくふうちっし かきみーちっかー。

くとぅすまい、残雪っあ、がんぬ むり一ゆ さーりぃ かーずく(ぬーまずー)ん きょしょたいう。残雪ていや、ぴっとうからぬ がんん つきらい うたいっ なーさーい。んぎっ ぴっだいっぬ ぱにぬ ぴっとっとっくるなーん しょっそーしょっすぬ きーぬ まじり うたいっぱどっ、狩人ぬきゃーから あんちー, あいっざい うたいっさーい

大造しゅーや, ぱなぬ しったん たちってい, かんちー, うぷぐいしー がんかい あびっいっ たいっ。あんちーしーってぃ, 残雪ぬ にしっんかいてぃ とっび ぴっ いっすー、きっむすがいっ みぱなーしー みーつき うたいっ。 いつがみまい いつがみまい みーつき うたいっどーや。

「大造うしゅまいと っ がん」 八重山 しっまむにし かきみょーら。

くとっしん、残雪や、がんぬ むりば さーり、くむるかい きーだ。 残雪であんくそーやー、ぴとっがらぬ がんぬ なーゆー。 ぴだるねーらぬ ぱにに、すそーすの きーば むちうり、とっるうつから あんじ あんかれ一だ。

大造しゅーまいや、ぱなぬ つたんが たちて、うふくいし、がんかい ゆびかきだ。うりから、残雪ぬ にすんたかい とうびはる むぬば、さにしゃ一る つらし みや うだ。

いつまでぃん いつまでぃん みや うだ。

「大造あさとう がん」 与 那 国 どっなんむぬいし かてぃん あしや。

くとうちん、残雪や、がんぬ ぶり すいてい くむいでいんき すたん。 残雪んでぃ んどぅんすや、とぅがらぬ がんき ^っきゃる なーどぅ ないぶる。 んだい にでいぬ はにぬ、とっとっぐりん、つだーりぬ まんでい きーんか むいぶたばどっ、かりゅーどっんたがら、うんに んだりぶたる。

大造あさや、はなぬ ったりん たていてい、くんに、ふーていんきぬ くいし、がんき、 くい かぎわたん。うんにいしてい、残雪んか にちんき とっぴ ひるむぬゆ はりばりとう きぶる ちらし みーまぶい きーわたん。 いちまでいん、いちまでいん みーまぶい きわたん。

なーふぁくとっぱ ちかてぃ んーら。

那覇言葉を使ってみよう。

これまで、いろいろなしまくとぅばの使い方をみてきました。 でも、しまくとぅ ばは、実際に使ってみなければ、身に付きません。そこで、これまで学んできた しまくとうばを使って、実際にしまくとうばを使ってみませんか。

まずは、自己紹かいから始めてみましょう。

わんねー なーふぁ ゆき やいびーん。 小学校ぬ ぐにんしーやいびーん。 私は、那覇夕希です。小学校の5年生です。

ぬーがな あびてい まーに。 何か話してごらん。



ちゅーや いぃー っわーちち やぐとっ まじゅーん あしびーが いか。 今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

ちゅーや あみ ふとーぐとっ, まじゅーん びんちょー さな。 わんにんかいん、なーふぁくとぅば ならーち とぅらさに。 今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。 私にも那覇言葉を教えてちょうだい。

北部 くしぬくとうわ とうかてい んだー。

わー なーや なぐ ゆーき。小学校ぬ ごねんせい いぇーびん。

私の名前は名護夕希です。小学校の5年生です。

ぬーげら ふぁなししち んでー。 何か話してごらん。

ちゅーや いぃー つわーとっき いぇーくとっ, まんなな あすゐが いかー。

今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

ちゅーや あみ ぷとくとっ まんなな べんきょー さー。

くしくとうわ ならーち とうらしぇー。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。久志言葉を教えてちょうだい。





宮 古 みゃーくふうちょ つかいみー。

ばがなーや みゃーく ゆき。小学 ぐにんしー。

私の名前は宮古夕希です。小学校の5年生です。

の一がら一ゆ ぱなし みーる。 何か話してごらん。

きゅーや かぎ わーちっきっ やーば まーちっき あすぴっが ずー。

きょうは良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

きゅーや あみぬ つふい ういば まーちっき べんきょー すー。

みゃーくふうちょ ならーしょ ふいーる。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。宮古言葉を教えてちょうだい。

八 重 山 しっまむに いじみやーむー。

ばー なーや いしがき ゆきーゆー。小学 5ねんしぇいゆー。 私の名前は石垣夕希です。小学校の5年生です。

の一んがさ いじ みやーみーり (いじみーり)。 何か話してごらん。 きゅーや おーつき かいしゃーりき まーずん あさぴな はら。 今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

きゅーや あーみぬ ふいりき まーずん びんきょー さー。

しっまーむに ならーし ひーりゃ。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。島の言葉を教えてちょうだい。

与 那 国 ちまむぬい っかいんぬー。

あんか なーや どっなんゆーきゆ。小学ぬ ぐにんしどっ ないぶる。 私の名前は与那国夕希です。小学校の5年生です。

ぬー あるばん はなしきー んにに。 何か話してごらん。

すーや いー わしきどう ありゃー、まどうん あんびんでい でぃー。 今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

すーや あみどっ ふいぶるんがら まどっん びんきゅ きるやー。 ちまむぬい ならし とっらしんに。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。島の言葉を教えてちょうだい。



